

サマリー

減速し始めた中国の石油需要

石油・ガスユニット 石油グループ 松本 知子

中国の石油需要は、着実に増加しているが 2011 年に入り減速してきた。中国の景気を支えていた投資と輸出が低迷し、中国の経済成長が失速してきたことが石油需要にも下方圧力を及ぼしているといえる。このような景気停滞による中国の石油需要の減速は避けられないが、他方で、石油需要を下支えする要因が潜在しているのも確かである。欧州経済や中国国内の経済次第ではあるが、短期的には、景気刺激策、及び、戦略備蓄基地や新設製油所などの石油関連施設への充填需要といった要因が今年後半から来年にかけて石油需要を下支えし、石油需要は再び以前の増加基調に近づくのではないかと考えられる。長期的には、中国のモータリゼーションが進行する余地は大きく残されており、今後も自動車保有台数は増加し、石油需要の増加へとつながっていく可能性は高い。従って、中国の石油需要の伸び率は緩やかになるかもしれないが、今後も増加していくことは確実である。

お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp